

第44回 奈良県河川整備委員会 議事概要

1 日 時：平成20年2月29日 9:30～12:00

2 場 所：猿沢荘3Fわかくさ（奈良市池之町3番地）

3 出席者

委員 6名：池淵周一、伊藤忠通、岩本廣美、岡田伸子、谷幸三、和田萃
(五十音順、敬称略)

事務局 4名：奈良県 徳元河川課長 ほか

4 議事要旨

- (1) 第43回奈良県河川整備委員会の議事概要の確認
- (2) 紀の川（吉野川）水系河川整備計画（原案・第2稿）について
- (3) 今後の進め方について
- (4) その他

5 議事内容（主な意見、回答）

5.1 第43回奈良県河川整備委員会の議事概要の確認

- ・ 特になし（委員了承）

5.2 紀の川（吉野川）水系河川整備計画（原案・第2稿）について

①第1章

- ・ 1-2の図1.1.3「吉野川流域概要図」で、川上村の右岸側の支川の名前が載っていない。県管理区間の河川以外の支川も河川名を表示できないか。

②第2章

- ・ 大滝ダムの洪水調節がどういうものか、住民の方々がわかるようイメージ図のようなものを提示してはどうか。
- ・ 2-9のユキヤナギの写真は花が咲いているものに変えて欲しい。
- ・ 2-15の清掃活動の写真は、第1稿の写真は清掃をみんなで行っている様子が分からなかったが、今回の第2稿の写真は写っている人が小さく寂しい感じである。不必要な部分をカットし、吉野川や作業風景が明確になるよう必要な部分を大きくすればよい。
- ・ 2-15の五條市の「灯籠流し」の写真に加えて、五條市の大川橋付近の河川敷などの写真も入れてはどうか。
- ・ 写真に関して、写真の場所を特定できるようにできないか。

③第3章

- ・ キャッチフレーズの選定については、14の案に対して再度、各委員に第1位、第2位、第3位と優先順位を付けていただき、その結果をもとに、一つの案を用意し、また改めて意見をいただく形でまとめていきたい。（各委員了承）
- ・ 地域の人々がどういうキャッチフレーズを望んでいるかということもあるので、あくまでも委員会で出すのは案で、地域の人々に納得してもらう必要がある。
 - キャッチフレーズも含めて、地域の住民、関係する方々に意見を聴くこととしている。

④第4章

- ・ 第4章は第3章の目標の後に整備計画が書かれてある程度で実施内容が明確でない。実施する内容がはっきり分かるようにした方がよい。また、実施方法についても具体化すべき。なお、具体的な実施内容が書きづらい場合は、他河川の事例を書くことも考えられる。
- ・ 「関係機関」との連携といった文章が多いが、関係機関としてどのようなものがあるのか具体化出来ないか。
 - 関係機関が非常に多いため、具体的に全て書き出すことが困難なため、ここでは意図的に「関係機関」という形にしている。
- ・ 最近、局地的な豪雨によって洪水が起こっており、吉野川流域でも集中的に伊勢湾台風以上の洪水が起こり得ることも考えられるが、それらのシミュレーションはしているのか。
 - 伊勢湾台風だけではなく、その他の洪水等も考慮している。
 - さらに、計画規模を超える洪水については、本整備計画では、情報システムの整備、浸水想定区域図、洪水ハザードマップ等を作成するなどのソフト対策でカバーしていくこととしている。
- ・ 4-2の表4.1.1「工事施行の箇所」や4-3の図4.1.2「整備区間位置図」では、具体的な工事施工箇所を表示しているが、今後、調整を図って変更することは十分あり得るのか。
 - 工事箇所については、現時点で浸水の恐れのある箇所であり、計画に位置付けていきたいと考えているが、地元との調整や状況の変化に応じて改定していくことも考えている。
- ・ 4-2の表4.1.2「改築を行う工作物」で、南国栖橋を住民が「鈴の音橋」と愛称で呼んでいるのなら、愛称を括弧書きで付記した方がよい。

5.3 今後の進め方について

- ・ 原案第2稿については、本日の意見を踏まえ、いくつか意見を反映する必要があるが、委員会としては概ね了解できる内容になっている。このため、3月27日に予定していた次回委員会は延期し、修正内容について各委員に確認後、住民意見聴取を行い、その結果を踏まえた上で委員会を開催する方が望ましいと考えるがどうか。
 - 各委員了承